



稲田 充 副院長（脊椎センター長）

## 「Best Doctors」

に認定されました！

当院では、脊椎（頸椎・腰椎）の手術を年間約500件行っております。痛み・しびれなどでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

\*「Best Doctors in Japan」  
1999年よりピアレビュー調査を実施。多くの医師から“活躍している医師”として高い支持を得た医師が選出される



ICLS 院内講習会開催 6/20

当院では、ICLS・JMEC（各2回/年）、BLS（6回/年）、NCPR（5～6/年）講習会を開催し救急医療の質を高めています。



地域医療連携室からのご案内

外来診療のご予約については

地域医療連携室にお問い合わせください。

直通 TEL: 052-991-8145  
FAX: 052-856-0049 (7月～新設)  
FAX: 052-991-8161

対応時間: 平日 8:45～20:00  
土曜日 8:45～12:30

\*患者さんからの電話・FAXでのご予約は受け付けておりません。

《名古屋市立 西部医療センター》  
〒462-8508 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1  
TEL: 052-991-8121 (代表)  
FAX: 052-856-0049 (地域医療連携室直通)  
FAX: 052-991-8161



地域医療連携 NEWS (2020. 7月号)  
発行: 地域医療連携 NEWS 編集委員会  
委員長: 栗原 義之  
編集人: 上妻 由紀江・小谷 純子

# 名古屋市立西部医療センター 地域医療連携 NEWS

◆目次◆

- 西部医療センター院長代行 ご挨拶 ..... 1
- 内視鏡センター長 ご挨拶 ..... 1
- 地域医療連携推進担当医/消化器内科部長 ご挨拶 ..... 1
- 内視鏡センター ご紹介 ..... 2
- 泌尿器科 ご紹介 ..... 3
- TOPICS・お知らせ ..... 4
- 歯科口腔外科 NEWS ..... 別紙
- 栄養相談のご案内 ..... 別紙
- 診療担当医のご案内 ..... 別紙

西部医療センター 基本理念  
患者さんと職員の笑顔がみられる病院



2020 7月号

## 西部医療センター院長代行 ご挨拶

いつも大変お世話になっております。当院は平成23年5月に開院して以来10年目に入りました。先生方から多くのご指導・ご協力を賜りここまで発展できましたことを心より感謝申し上げます。まだまだ不十分な点も多々あるかと存じますが、ご期待に添える病院を目指し職員一同日々精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



院長代行  
第一消化器内科部長  
妹尾 恭司

## 内視鏡センター長 ご挨拶

いつもお世話になりありがとうございます。内視鏡センター長の土田研司です。内視鏡センターのご紹介をさせていただきます。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による緊急事態宣言期間中は、緊急性のない消化器内視鏡診療の延期・中止をさせていただいておりましたが、6月より通常の診療体制としています。先日内視鏡検査室で患者さんが少しずつ戻ってくるのを感じ、普通に内視鏡診療ができることのありがたさを、改めて実感いたしました。今まで以上に地域医療支援病院としての役割を果たすべく努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



内視鏡センター長  
第二消化器内科部長  
土田 研司

## 地域医療連携推進担当医/消化器内科部長 ご挨拶

地域医療連携担当医になりました消化器内科の木村吉秀です。どうぞよろしくお願い致します。消化器内科では病診連携の一環で上部内視鏡検査を承っておりましたが、令和になり下部内視鏡検査も始動いたしました。先生方におかれましては、たくさんのご依頼を賜りありがとうございます。ところで、新型コロナウイルスの影響は想像以上に大きく、当院も感染対策や患者さんの自粛等で大きな影響を受けております。日本を含め世界中でワクチン、治療薬の開発が行われており、一日も早い新型コロナウイルスの終息を切に願っております。



第三消化器内科部長  
木村 吉秀

## 内視鏡センター（消化器内科部門） ご紹介



当センターでは2011年5月の開院以来、検査件数は増加し、昨年度は上部内視鏡 3196件、下部内視鏡 2762件、ESD 66件、ERCP 265件、EUS-FNA 58件、気管支内視鏡 305件施行させていただきました。

消化器内科では特に**上部・下部消化管悪性腫瘍を中心とするESD**（内視鏡的粘膜下層剥離術：Endoscopic submucosal dissection）に積極的に取り組んでおります。

また、**通常のルートでは減黄できない閉塞性黄疸例**に対し、がんセンターや大学病院など、この地区では一部の病院でしか行われていない**EUS-FNAの手技を用いたドレナージEUS-BD**（超音波内視鏡下胆道ドレナージ：Endoscopic ultrasound/ultrasonography-guided biliary drainage）や、**Spy Glassによる最新の経口胆道鏡**も行っております。

これもひとえに登録医の先生方から多くの患者さんをご紹介いただいている賜物であると、この場を借りて感謝申し上げます。



スタッフ紹介

先生方には、**吐下血や内視鏡治療の適応となる患者さん**はもちろんのこと、**手術になりそうな症例、化学療法の適応症例から検診精査に至るまで**、どうぞご紹介ください。また、ルーチンの**大腸内視鏡検査**では、今まで通り**自宅での下剤内服による前処置**に加え、**内視鏡室での前処置も可能**となりました。遠方の患者さんや自宅での下剤内服が困難な患者さんなど、適応がございましたらご活用ください。

今後も、患者さんから「西部医療センターで内視鏡を受けたい」と思っただけで、皆様に選ばれる内視鏡センターを目指してまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

内視鏡センター長 土田 研司

## 泌尿器科 ご紹介



当院は日本泌尿器科学会の専門医教育施設に認定されており、2名の指導医を含む常勤3名で診療にあっております。

- ★泌尿器科疾患のなかで大半を占める**泌尿器科がん、尿路結石**の治療は全般にわたり治療しております。また**女性泌尿器科やロボット手術**が必要な際は適宜名古屋市立大学病院、東部医療センターと密に連携をとり、泌尿器科疾患すべてにわたって治療が行える体制となっています。
- ★前立腺がんにおいては陽子線センターと連携しており、これにより**前立腺がんの早期治療**が可能になっております。
- ★**男性不妊症**といったあまりなじみのない疾患についても治療に取り組んでおります。現在子供を望む夫婦6組に1組は不妊症であるなかで、その原因の半分を男性が占めています。つまり既婚男性12人に一人は男性不妊症となります。この少子高齢化の時代では大変重要な治療を担っており、**毎週、顕微鏡下精巣内精子採取術、顕微鏡下精索静脈瘤低位結紮術**を行っております。

このように他の施設ではできない泌尿器科治療にも取り組んでおります。是非、患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。



名古屋市立大学 小児泌尿器科学分野 助教	泌尿器科部長 腹腔鏡技術認定医 がん治療認定医	泌尿器科特別診療科部長 腹腔鏡技術認定医/生殖医療専門医 ロボット手術プロクター	泌尿器科医 シニアレジデント
西尾 英紀	小林 隆宏	梅本 幸裕	磯谷 正彦

## ～With Corona の口腔外科診療のご案内～

登録医の皆様には、COVID-19 の感染拡大の防止にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。お蔭様で東海地区の感染拡大は終息の兆しが見えてきているような状態であります。当院口腔外科でも、6月から徐々に手術内容の制限を緩和し、日本口腔外科学会の提言に沿いながら当院感染対策室と COVID-19 を standard precaution に加えることを検討し、感染予防対策を進めております。

具体的には、**歯牙切削時のエアロソルの対策**として、

- ① 歯牙切削には可及的に5倍速コントラを用いる
- ② 口腔外吸引装置を用いる
- ③ 手術台（歯科ユニット）の距離を保ち、使用後には拭拭のための時間を設けるの3点については設備を拡充して既に行っております。

また、手術を予定した際には患者さんに対して**手術日の14日前から**次のことを要請しております。

- ① 他県（特に東京など関東地区・北海道）への移動の自粛
- ② 毎日の検温（37.0℃以上の発熱が4日続いた場合はご連絡をいただく）
- ③ 人混みを避け、接触する人数を少なくする

以上の点について、先生方にもご理解をいただき、ご紹介をいただく際に患者さんに対して予めご説明いただきますと、当方での診療がより円滑になります。ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

今まさに突入した With Corona の時代には、我々にとっても新たな治療体制の模索を迫られております。診療体制の変更などはこの紙面を借りてご報告致します。登録医の皆様には、今後ともご指導を賜りますとともに従来と同様のご援助を引き続きよろしくお願い申し上げます。

歯科口腔外科部長 深野 英夫

## 地域医療連携推進担当医 ご挨拶



副部長

渡邊 裕之

大変お世話になっております。今年度から『地域連携推進担当』になりました渡邊裕之です。西部医療センターに赴任して3年が過ぎようとしております。

今後も患者中心の医療ができる様、精進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。何かありましたら地域連携を通してご相談を頂ければと思います。



地域医療機関の皆様へ

# 栄養相談のご案内

受診されている患者様の中に食事でお悩みの方はいらっしゃいませんか？

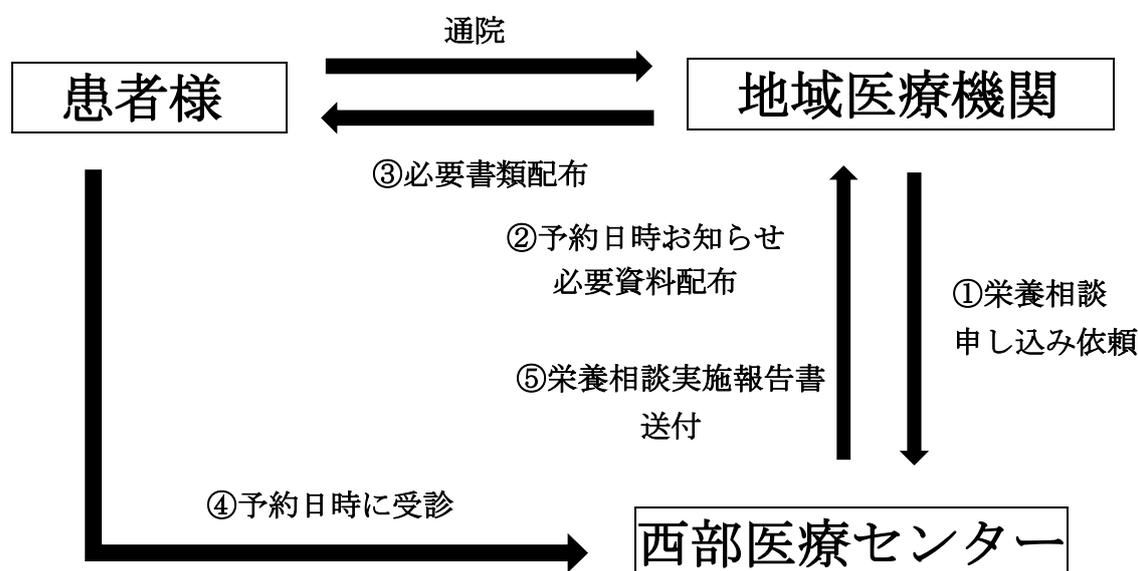
当院では、地域医療機関を受診しながら栄養相談のみ受けることが可能となっております。

栄養相談実施後は、当院から「栄養相談実施報告書」を地域医療機関へ送付しています。

患者様よりご希望がありましたら、以下の手順に沿って申し込みをお願いいたします。

## ◆申し込み手順

- ①患者様から栄養相談のご希望があった場合、「栄養相談依頼書」に必要事項を記入し、実近の採血結果とともに当院地域連携室へFAXを送信していただきます。
- ②折り返し当院より、栄養相談日時等の必要事項を記載した「診療予約票」を地域医療機関にFAXでお送りします。
- ③当院からお送りした「診療予約票」を患者様へ配布していただきます。
- ④患者様には栄養相談予約日時に当院へ来院して頂き、栄養相談を実施します。
- ⑤栄養相談実施後、当院から「栄養相談実施報告書」を地域医療機関へ送付します。



●栄養相談依頼書は以下より印刷してご利用ください。

西部医療センターホームページ ➡ 地域医療機関の方へ ➡ 診察の予約 ➡ 栄養相談依頼書

※<http://www.west-medical-center.city.nagoya.jp/area/cooperation#001> からアクセスが可能です。

●お問い合わせは下記までお電話ください。(平日 8:45~17:15)

名古屋市立西部医療センター TEL:(052) 991-8121 (代表)



名古屋市立

西部医療センター 産婦人科 ご案内



## 「高齢妊娠で出生前診断を 希望されている患者さまへ」

近年、妊娠出産年齢が高くなり、出生前診断の需要が増えています。当院では羊水検査と母体血清マーカー検査に加え、母体血を用いた出生前遺伝学的検査（NIPT）を行っております。日本医学会からの施設認定を受け、臨床遺伝専門医による遺伝カウンセリングを行い、検査後に適切な診療を受けていただきます。

\*昨年度までは当院で分娩される方のみを対象としておりましたが、令和2年4月より **当院で分娩されない方**にも実施しております。



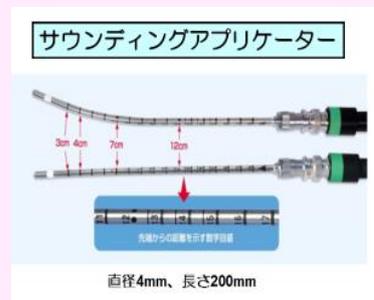
### NIPT 実施の流れ

- ★妊娠9週～10週ぐらいで一度受診していただき、検査日時を決めて予約を取ります。検査は妊娠12週～15週（できれば14週まで）の期間が最適です。
- ★一度目の受診時にはご本人のみの受診で結構ですが、検査日と結果説明日は配偶者の同伴が必要です。結果が陽性であった方、判定保留となった方は確定診断のための羊水検査も受けていただけます。

## 「月経の出血でお困りの患者さまへ」

婦人科領域においては子宮筋腫などによる過多月経や月経困難症などに対する症状緩和を目的とした**マイクロ波子宮内膜焼灼術（MEA）**を取り入れています。

\*子宮腔内にアプリーケーターを挿入し、マイクロ波を発生させて内膜を焼灼する治療方法です。



マイクロ波焼灼イメージ

“子宮筋腫による貧血はあるが子宮を摘出するほど大きくはない” “もう少しすれば閉経を迎えるので手術は避けたい” などの患者さまに対して MEA の有効性が報告されています。（ご紹介いただければ適応の有無について検討いたします。）

★子宮は温存されますので MEA 後は紹介医にお戻りいただき、子宮頸がん検診などを引き続きお願いいたします。

—お気軽にご相談ください— 産婦人科部長 荒川 敦志

